

集い・交わり・語らい・楽しむコミュニティゾーン

伯耆しあわせの郷だより

【発行】 伯耆しあわせの郷 ☎ 26 - 5581 <http://www.shiawasenosato.jp>
 指定管理者 旭ビル管理株式会社



「ぱっと咲きパツと散る桜」は日本人の精神に通じるものがあるとされ特別な花です。今年も当地のしだれ桜もきれいに咲きました。写真は岡山県の醍醐桜です。

「健康で豊かな社会実現のために教室を開催」
 今年の桜は3月上旬から好天に恵まれ気温も高かったことで早めの開花となりました。マスクの着用も3月上旬から着脱が個人の自由に任されることになり着実に時が進んでいます。5月の8日の全面解禁に向かってスムーズに進んで行くと思います。

さて、当施設もコロナ禍からの脱却を踏まえて徐々にですが貸館利用者も増えてきました。また今年度の教室開催事業も順調に受講申し込みを頂いていて、約50の教室が順次開講していきま

す。心と体の健康は、規則正しい食生活と適度の運動そして人と人との交流によってもたらされると思います。定期的な健康診断も組み合わせる病気に負けない豊かな人生を送りたいものです。

また今年はしだれ桜の郷まつりも3年ぶりに飲食を伴う形で開催いたします。伯耆しあわせの郷のしだれ桜をお楽しみいただきたいと思います。

受講生募集

※申し込みは、4月1日（土）から先着順にて受付、定員になり次第締め切ります。

※受講料は初回前納。納入された受講料は原則返金いたしません。

※受講料のほかに材料費などが必要です。

教室名・講師	日時	回数	定員	受講料
こうじ×季節の食材でおもてなし料理 「塩こうじを使った白身魚のアックアパツツア他」 栄養士・調理師 宇山 泰代さん	4月15日（土） 10：00～13：00	1回	16名	600円 （要材料費）
米粉のベーグルを作ろう！ 「米粉ベーグル他」 奥村 美樹さん	4月16日（日） 10：00～12：00	1回	14名	600円 （要材料費）
韓国料理を作ろう！ 「ピビンパプ他」 調理師 西尾 春代さん	4月23日（日） 10：00～13：00	1回	25名	600円 （要材料費）

今月の休館日 4月3日（月）、4月10日（月）、4月17日（月）、4月24日（月）

伯耆しあわせの郷には平成5年の開館時、石谷精華堂石谷様によって寄贈された、しだれ桜が約100本あり、植樹から30年が経過し、とても見ごろになっています。花言葉が「優雅」であるようにしだれた枝に咲く優雅な花をカメラを持ってぜひお出かけください。

日本最大級の
しだれ桜群植

伯耆しあわせの郷

しだれ桜の里まつり

ステージイベント
フラダンス公演

11:00~

松中啓憲 *Matsunaka Akinori*
ぴあのうたミニコンサート

11:30~



織物体験
絣小物販売 マフラー他

打吹公園だんご
販売

陶芸絵付体験
カップ 1,000円~
販売

飲食ブース

唐揚げ・焼きそば・たこ焼き他

カップ 500円~

ものづくり

桜のポップアップカード作り

たけのこ
販売

竹細工製品の展示

しだれ桜の苗木販売 1,000円~
段ボール燻製器の実演販売 1,000円~

モルックの
無料体験



今注目のニュースポーツ!
倒した棒の点数を競います。
老若男女誰でもたのしめます。

場所 ゲートボール場 (雨天の場合トレーニングルーム)

しだれ桜フォトコンテスト

今年撮影した作品をA4サイズに印刷して、お持ちください。
1人3点迄。審査の上最優秀賞1点(副賞10,000円商品券)
優秀賞3点(副賞5,000円商品券)を表彰します。

応募締め切り 4月30日(日)

10:00
~
15:00

と
き

4月9日(日)

と
こ

伯耆しあわせの郷

主催:しだれ桜の里を育てる会・伯耆しあわせの郷

臨時送迎バス運行

西倉発

9:25 10:25 11:25 12:25

伯耆しあわせの郷発

12:00 13:00 14:45 15:45

各種教室作品展 後期開催しました

3月11日(土)より26日(日)まで各種教室作品展(後期)を開催しました。織物教室・絵画教室・竹細工教室・和布細工教室・四季のちりめん教室・関金陶芸教室の受講者のみなさんの作品を展示いたしました。来場者のみなさまは年々向上する技術力に感心された様子で、ご好評をいただきました。



文芸教室の小谷さん 憶良賞入選

伯耆国守 万葉歌人 山上憶良にちなんで創設された「山上憶良短歌賞」。昨年開かれた第11回短歌賞には、全国と海外から4635首の応募があり、文芸教室の小谷貞代さんが佳作に入選されました。

この世なら憶良はどんな歌詠むか

どちらの兵士も家族が居たり

小谷さんおめでとーございます。



小谷和上とときめく会仏像展 開催

仏像彫刻教室講師 仏師 小谷和上さんと仏像彫刻教室受講者のみなさんによる仏像展が倉吉淀屋で3月18日(土)〜26日(日)まで開かれました。今年のテーマは「菩薩の椿」。19日(日)には小谷先生が虚無僧姿で登場、多くの来場者を楽しませました。



みそ作り教室開催

毎年恒例のみそづくり教室を2月25日と3月9日に開催しました。鳥取県産の大豆を使ったみそ作り教室は年々人気が高まり、今年は募集開始から数日で満員になりました。リピーターの方に加えて今年も新規の方も多く参加され、みなさん和気あいあいとみそ作りを楽しまれていました。



無料体験教室開催しました

4月の教室一斉開講の前に、教室の内容を体験してもらう無料体験教室を煎茶教室3月3日、水墨画・日本画教室3月5日、民謡教室3月23日に開催しました。教室の内容を体験していただき、受講のきっかけ作りにして頂きました。

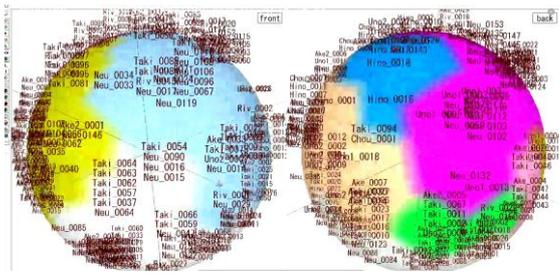
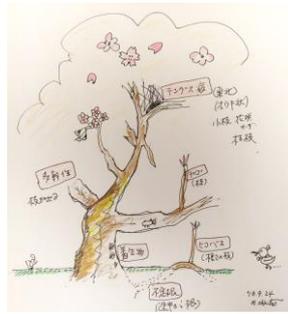
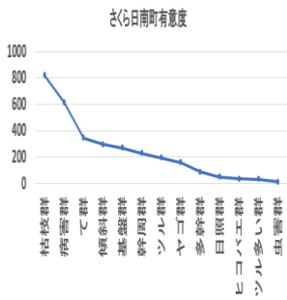


湯梨浜町中央公民館泊分館の皆さんが 倉吉絣コースター作りを体験されました

3月1日に、湯梨浜町中央公民館泊分館の方々が、公民館の事業として、倉吉絣コースター作りを体験され、すてきな倉吉絣のコースターを製作されました。しあわせの郷では倉吉絣コースター製作体験・草木染ハンカチ製作体験を受付けています。詳しくは電話にてお問い合わせ下さい。



鳥取県西部地区（大山町・伯耆町・南部町・江府町・日野町・日南町）の桜5000



しだれ桜の里を育てる会では鳥取県の助成を受けて令和4年度事業として鳥取県西部地区(大山町・伯耆町・南部町・江府町・日野町・日南町)の6町の桜の名所を中心に約5000本の調査を行いました。以前鳥取県中部で行った調査をこの度、西部地区の6町で行ったものです。調査内容は、桜の種類、樹幹の大きさ、枯れ枝、ヤコブ、ヒコバエなど生育に障害となる要素を1本毎に調査・記録し、得られたデータをもとにSOM(球面自己組織化マップ)で解析して障害の傾向を導き出し、治療の優先順位などがわかるというものです。

得られたデータは、今後桜の治療に役立てて頂くよう各町の担当に提供して行きます。

受水槽改修工事が完了しました

中部地震で損傷し、老朽化していた、受水槽の改修工事が完了しました。

多目的広場の一角に、銀色の幾何学的なフォルムの受水槽が設置されました。

水道水をここに貯め込み、ポンプで本館まで押し上げて水を使用します。



倉吉市内8基の忠魂碑が移設されます

戦没者慰霊などのために市内各所建立された忠魂碑をしだれ桜に囲まれた当館敷地内へ移設する工事が進んでいます。

移設は一昨年度から複数年度に亘ります。

令和3年度は上小鴨から1基、令和4年度は上井と北谷からそれぞれ1基ずつ移設されました。



編集後記

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが、5月8日から季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行します。これに先立ち3月13日からマスクの着用が個人の判断に委ねられました。社会経済活動において多くの制約が課せられたコロナ禍からの脱却がようやく見えてきました。

当館でも3年ぶりに「しだれ桜の里まつり」を開催します。ところが桜の開花と満開が例年より1週間ほど早まる予想で、まつりが開催される4月9日には、桜が散ってしまったことも予想されます。

「落花の雪に踏み迷ふ 片野の春の桜がり」は、鎌倉時代末期の元弘の乱で囚われた日野俊基が、京より鎌倉へ移送される途上を描写したもので、『太平記』に見える古来よりの名文です。

満開の桜が美しいことは衆目の一致するところですが、桜吹雪や桜の絨毯もそれはそれで美しいものです。

桜の花が散るか残るかは天候次第。桜の花が残っていることを祈りながら、久しぶりに古典の名作を読み返してみようと思う。